

平成 30 年 11 月閉会中
各会派政務調査会長会 開催結果

1 日 時

平成 30 年 11 月 5 日（月）16 時 15 分から 16 時 35 分まで

2 場 所

第 3 号館 6 階 第 2 委員会室

3 出席者

自由民主党	藤本百男	政務調査会長（座長）
	浜田知昭	政務調査副会長
公明党・県民会議	伊藤勝正	政務調査会長（副座長）
ひょうご県民連合	栗山雅史	政務調査会長
維新の会	住吉寛紀	政務調査会長
日本共産党	いそみ恵子	政務調査会長
（オブザーバー）		
自由民主党	戸井田ゆうすけ	政務調査副会長
公明党・県民会議	越田浩矢	政務調査副会長
ひょうご県民連合	前田ともき	政務調査副会長
維新の会	関口正人	政務調査副会長
日本共産党	きだ 結	政務調査副会長

（当局説明者）

水埜浩 政策創生部長、坂本哲也 ビジョン局長、守本豊 ビジョン課長、
高見隆 防災企画局長、尾山健司 社会福祉局長、上田賢一 少子高齢局長、
羽原好一 障害福祉局長、松原昭雄 健康局長、安部斉 政策労働局長、
遠藤英二 環境創造局長、春名克彦環境管理局长、市川和幸 計画参事
世良田重人 教育次長、渡瀬康英 教育次長

4 当日配付資料

別添のとおり

5 会議概要

（1）「県行政に係る基本的な計画の議決等に関する条例」に係る計画の審査

水埜政策創生部長から、別添「知事からの協議依頼文（平成 30 年度及び 31 年度前半に策定・改定予定の計画）」に基づき、議決対象の当否に係る当局意見として次のとおり説明があった。

① 条例上、基本的な計画（議決対象）として指定済みのもの

- ・ひょうご経済・雇用活性化プラン（改定）
- ・兵庫県環境基本計画（改定）
- ・ひょうご教育創造プラン（改定）
- ・兵庫県スポーツ推進計画（改定）

③ 基本的な計画ではない計画（議決対象外）

- ・兵庫県動物愛護管理推進計画（改定）
- ・兵庫県地域福祉支援計画（改定）
- ・兵庫県 DV 防止・被害者保護計画（改定）
- ・生物多様性ひょうご戦略（改定）
- ・兵庫県分別収集促進計画（第9期）（改定）
- ・ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画（改定）
- ・津波防災インフラ整備計画（改定）
- ・踏切すっきり安心プラン（改定）
- ・渋滞交差点解消プログラム（改定）
- ・日本海沿岸地域地震・津波対策アクションプログラム（新規）
- ・兵庫水素社会推進構想（新規）
- ・兵庫県アルコール健康障害対策推進計画（新規）
- ・ひょうご道路防災推進10箇年計画（新規）

この当局説明に対し、次の質疑がなされた。

○いそみ恵子 日本共産党政務調査会長

今回既に指定済みであるが、兵庫県スポーツ推進計画について、国の第2期スポーツ基本計画の策定を踏まえた内容の推進の時点修正となっているが、その修正内容とは何か。

○世良田重人 教育次長

国の新しい第2期スポーツ基本計画には、女性の活躍という文言が入っており、これまでもないことはないがかなり強調されているので、それを盛り込む。また、県が計画を立てた段階で決まっていなかった来年から始まるゴールデンスポーツイヤーズについて、本県のスポーツ計画には全く触れられていなかったもので、これからしっかり取り組む旨を記載するものであり、一部追加が主となる。

○いそみ恵子 日本共産党政務調査会長

議決対象ということで提案はなかったが、津波防災インフラ整備計画について、事業進捗を踏まえた内容の時点修正となっているが、その修正内容とは何か。

○市川和幸 計画参事

計画開始の平成25年から現在5年経ち、事業が進捗しており、そうした整備状況を踏まえた上で、残りの期間を計画的に進めるために時点修正を行いたい。一部計画の見直しがあったものについては、そうしたものを含めて、変更したいと

考えている。

○栗山雅史 ひょうご県民連合政務調査会長

ひょうご道路防災推進 10 箇年計画はひょうご社会基盤基本計画の下位計画と
のことであるが、道路も例えばひょうごインフラ・メンテナンス計画に含まれて
いたのではないかと思うが、今回特出しで道路ということを出していると思うが、
他の下位計画と重複しないのか。緊急輸送路の防災機能の強化もあるが、そのあ
たりの整理はできているのか。

○市川和幸 計画参事

ひょうご道路防災推進 10 箇年計画は、自然災害に備える防災・減災対策として
策定するものでひょうごインフラ・メンテナンス計画とは異なる。インフラ・メ
ンテナンス計画では、地震対策に伴う耐震対策、道路防災そのものということ
で緊急輸送道路と法面对策ということ書かれていたが、10 箇年、5 箇年計画とい
うとりまとめの仕方ではなかった。今回、道路防災に重点的に取り組むことを踏
まえ、10 箇年計画として、改めてとりまとめを行うものである。

○栗山雅史 ひょうご県民連合政務調査会長

防災関係の計画の改定は必要なのか。

○市川和幸 計画参事

インフラ・メンテナンス計画では、道路防災について箇所数だけを記述してお
り、特に計画というものではなかったため、今回、新たに計画という形でとりま
とめるものである。

○伊藤勝正 公明党・県民会議政務調査会長

兵庫水素社会推進構想は、計画でも、プランでも、プログラムでもなく、あえ
て「構想」で期間の定めもなしとしている。わざわざこういう風に特出しして
うたう必要があるのか。

○坂本哲也 ビジョン局長

これは、計画のレベルにならないものである。国の水素社会戦略もそうだが、
何年にどこまでいくというプログラムのようにならない。これからの水素
を使っていく社会イメージを作ろうということ構想という形で書かせてもら
った。そこまでのレベルだから出さなくていいという考えもあるが、挙げないのも
計画を隠しているような印象を持たれてしまうので出している。

○伊藤勝正 公明党・県民会議政務調査会長

今回議決対象になっている環境基本計画の下位計画に位置づけられるのかな
とも思う。期間の定めもないので質問した。これは、むしろ大事なことで、し
っかりした計画やアクションプログラム等にグレードアップしたらどうか。意見
だけに留めるが、大事な課題と考えている。今後検討してほしい。

(2) 議会改革に係る検証項目の議会改革検証委員会への報告案の確認

9 月定例会の各会派政務調査会長会における協議結果を踏まえ、議会改革検証

委員会への報告案を確認し、了承された。

(3) 今後の日程

今後、各会派において「基本的な計画」に該当するか否かの検討を行い、様式「平成30年度及び31年度前半に策定・改定予定の計画に対する態度」に各会派の態度を記入の上、11月28日（水）までに事務局へ提出することとされた。

その上で、12月定例会第1回目の各会派政務調査会長会において会派態度表明及び協議・調整を行うことを確認した。